

四国支部 研究委員会「材料分離が生じたコンクリート中の鉄筋腐食性状の評価委員会」の委員公募について

応募期限：2020年5月31日（日）

日本コンクリート工学会 四国支部

日本コンクリート工学会四国支部では、2020年度から研究委員会「材料分離が生じたコンクリート中の鉄筋腐食性状の評価委員会」（委員長：愛媛大学 河合 慶有，幹事長：四国総合研究所 中川 裕之）が発足します。つきましては、下記のとおり委員を公募いたしますので、ふるってご応募ください。

記

1. **応募方法**：E-Mail もしくは FAX で下記まで①氏名，②所属・連絡先を送る。
愛媛大学 河合 慶有
TEL：089-927-9815，FAX：089-927-9842
E-mail：kkawaai@cee.ehime-u.ac.jp
2. **応募資格**：四国支部圏内（香川県，徳島県，高知県，愛媛県）に在住または勤務する四国支部所属会員とする。
3. **応募期限**：2020年5月31日（日）
4. **選考方法**：委員長が行う。
5. **活動内容**：インフラ構造物の早期劣化の事例報告のなかには，設計・施工に起因する初期の不均質さや内部損傷が主たる原因となる事例が含まれており，必ずしも厳しい環境条件のみに起因しないことに留意しなければならない。また，SDGsの達成を目指し持続可能なインフラ構造物の高耐久化を推し進めていくためには，地産地消による産業副産物の有効活用は必要不可欠であると考えられる。そこで，本研究委員会では四国地域で使用されている主な産業副産物（銅スラグ細骨材，石炭灰）を対象として，材料の相違や材料分離により生じる部材中の不均質さが鉄筋腐食性状に与える影響について把握することを目的とする。特に，かぶりコンクリートの品質が腐食の発生・進行に与える影響に着目して，表層透気性や電気化学的指標に基づいて長期的な腐食性状を予測する手法について検討する。
6. **その他**：研究委員会の活動は原則として2年間とする。